

## 治安について(飯塚市・桂川町)

【飯塚警察署長との意見交換会を実施】



### 交通違反・事故件数

	2019年	2020年
交通事故死亡者数	1名	3名(+2)
重傷事故件数	36件	23件(-13件)
飲酒運転	80件	51件(-29件)
その他の違反	11,947件	10,672件(-1,275件)

- 交通事故については、事故件数は減少傾向にあるものの死者数は増加
- 飲酒運転はコロナの影響により減少はしているが依然として高い水準にあり無免許運転についても横ばいで高い状況

### 刑法犯(暴力、窃盗事件など)

	2011年	2019年	2021年9月末
認知件数	2,596件	880件	624件
少年刑法犯検挙数	123件	33件	12件

- 刑法犯認知件数は、近年大幅に減少しており、街頭警戒活動の強化や被疑者検挙など、予防と検挙を両輪とした各種対策の推進の効果によるもの。また地域による見守り活動、防犯カメラの設置、地域住民の防犯意識の高まりも大きな減少要因
- ニセ電話詐欺については減少傾向にあるものの、県全体では増加している。市役所職員を装った還付金詐欺が4件発生し、被害者の年齢は全員65歳以上の高齢者であり、注意が必要です

### ニセ電話詐欺

	2019年	2020年	2021年9月末
認知件数	6件	11件	6件
被害額	約1,100万円	約860万円	約300万円

## 活動報告

【八木山バイパス視察】



### 4車線化事業計画



【福岡県男女共同参画表彰式】



飯塚市から安藤さん、相本さんが選ばれました

【久留米市豪雨被災地支援活動】



地元でも様々な地域活動に取り組んでいます。いつでもご相談ください。

### プロフィール

【学び】 嘉穂高等学校卒、中央大学卒、ロンドン大学 大学院卒  
 【仕事】 野村證券、英語講師、不動産業、飯塚市行政アドバイザー等に従事、福岡県議会議員(2019年~)

- 政治理念 / 政治こそ清潔と信頼
- 保有資格 / 宅建士、証券外務員1種、内部管理責任者、防災士



# 福岡県議会議員 高橋義彦 県政寸び

## 福岡県議会情報 県政報告資料 Vol.5

9月定例会は、9月10日から10月14日まで35日間の会期で審議が行われました。新型コロナウイルス感染症対策として、病床・宿泊療養施設の確保、ワクチン接種の加速化などへの取り組み、飲食店に対する時短協力金等のほか、「安全・安心の確保」、「地域活性化等」に必要な経費などの議案が知事より提出されました。審議に際し、コロナ禍での多くの課題、大雨災害対策、財政運営、商工問題、教育問題など県政全般にわたり様々な視点で各議員から質疑が行われました。

私も地元の方のご意見やご要望をもとに一般質問、決算特別委員会で計3度質問に立ちました。

## 沢井製薬新工場建設決定!

ジェネリック薬品大手の沢井製薬が、飯塚市(平恒)に新工場を建設することが決定し沢井製薬株式会社・福岡県・飯塚市の三者による立地協定締結式が行われました。

約400億円かけて新たに製造工場を建設し、第二九州工場の生産能力を現在の約2倍に引き上げることを目指しています。

新工場は2022年9月に着工し、2024年に出荷を始める予定で、今後のジェネリック医薬品のさらなる市場拡大に対応する目的で建設され、将来的には **500名** 近くの雇用が見込まれています。

**飯塚市のみならず桂川町や嘉麻市といった周辺自治体への波及効果もあり、大きな期待を致しております。**

【新工場建設予定地】



【新工場完成イメージ図】



出典: 沢井製薬プレスリリース

【立地協定締結式】



沢井製薬社長

福岡県 高橋義彦 Facebook・Twitterでも随時情報をお届け致しております

(免責事項)掲載している情報に関して、細心の注意を払っておりますが、情報に誤りがあった場合や、事由の如何を問わず記載される情報等によって発生した損害等は一切責任を負うものではありません。

高橋義彦事務所 〒820-0704 飯塚市阿恵 1178  
 TEL.0948-72-0005 FAX.0948-72-4785



# 一般質問

## 「気候変動に対する 県の取り組みについて」

近年「数十年に一度の災害や観測史上初」といった言葉を毎年耳にするようになりました。**本県においても5年連続で豪雨による被害が発生**するなど、日々の生活においても気候が大きく変化している事を身をもって感じています。世界ではClimate Change(気候変動)という言葉から、Climate Crisis(気候危機)という言葉が使われ、日本でも環境省が昨年「気候危機宣言」を出しました。実際に日本での年平均気温は100年当たり1.26度の割合で上昇しており、農作物では、白未熟粒の発生や一等米比率の低下などが確認されており、一部の地域では収量の減少も見られています。信頼できる情報に基づく効果的な対策の推進は急務であり、**自然豊かな福岡県において、気候変動の影響を把握し、県民に伝えていくことが重要**であると考え、知事に質問を行いました。



### 質問.1 福岡県における気温上昇や降雨量の変化など気候変動について

#### <知事の回答>

平均気温は、福岡市中央区において、100年あたり2.45℃の割合で上昇している。今以上の温暖化対策を行わない場合、**今世紀末には4.1℃程度上昇**すると予測されている。一日降水量200mm以上の**大雨の発生頻度**は、今世紀末には**約3倍に増加**すると予測されている。

### 質問.2 県民に対する啓発活動と家庭におけるエネルギー消費量の削減状況について

#### <知事の回答>

県では、地球温暖化対策の重要性を県民に対して普及啓発する拠点として、**「福岡県地球温暖化防止活動推進センター」を設置**。家庭における電気・ガス等のエネルギー消費量については、2018年度の1世帯あたりの消費量は、**基準年度比で20.3%削減され、全国14.0%を上回る削減率**となっている。

### 質問.3 地球温暖化対策実行計画の改定について

#### <知事の回答>

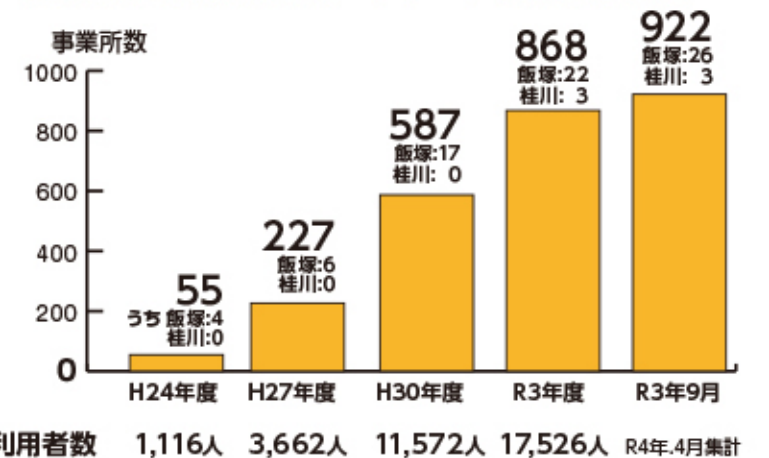
「2050年カーボンニュートラル」を新たな目標とし、再生可能エネルギーの導入促進や省エネの推進など、具体的な施策を盛り込むとともに、農業における高温に強い品種の普及や熱中症予防の啓発といった気候変動の影響を防止・軽減するための適応策も盛り込んだ、**地球温暖化対策実行計画を今年度改定**する。

# 決算特別委員会

## 「放課後等デイサービスの適切な運営について」

本県における「放課後等デイサービス」の事業所数は本年9月時点で922カ所と**10年で約17倍**の数になっており急激に増えている状況です。事業所によってサービスの内容も様々であり、指定を受けた事業所が適切な運営を続けていくためにも県による継続的な指導が非常に大切であると考えます。障がいを持った子供たちの身体や精神の状態に合った適切なサービス利用計画を立てる相談支援専門員の体制の充実・強化、事業所の職員に向けたスキルアップ研修等の充実を図る必要性を質しました。新規事業所はもちろん、より多くの事業所が参加できるような仕組みを創出し放課後等デイサービスの適切な運営に向けた強力な支援を要請致しました。県からは、高い療育を行ってもらうために**研修プログラムの充実や実地指導の取組みを着実に実施し事業所の運営をしっかりと支援**していくとの回答を頂きました。

### 福岡県の放課後等デイサービス事業所数



## 経過報告:R2年9月議会で取り上げました ブロックチェーンフォーラムが開催されました!

福岡県主催のブロックチェーンフォーラムが開催されました。「ぶどう」「あまおう」などの福岡県産農産物を香港に出荷する際にこの技術を使った実証実験に成功した事も発表され、産業分野における活用への期待が高まっています。この技術の最大のポイントは、高いセキュリティ技術により守られた信頼です。海外では食べ物も偽物が出回っており、生産者から流通ルートまで全てを担保するという事で活用されています。アパレル業界ではルイヴィトンといった高級ブランドなども活用し始めており、**服部知事は「ブロックチェーンを新たな成長産業と位置づけ、企業の育成、集積に取り組んでいく」と挨拶**され、片峯飯塚市長からは「飯塚市ブロックチェーン推進宣言」が発出されました。今後は九州工業大学でのブロックチェーン講義など取り組みを開始する予定で、「まちづくり」「産業形成」「人材育成」の3本柱で進んでいきます。



ブロックチェーンフォーラム会場にて



生産者→販売ルート→消費者(海外)の実証実験に成功

(香港のスーパーにて) 県産ぶどうを購入する消費者